

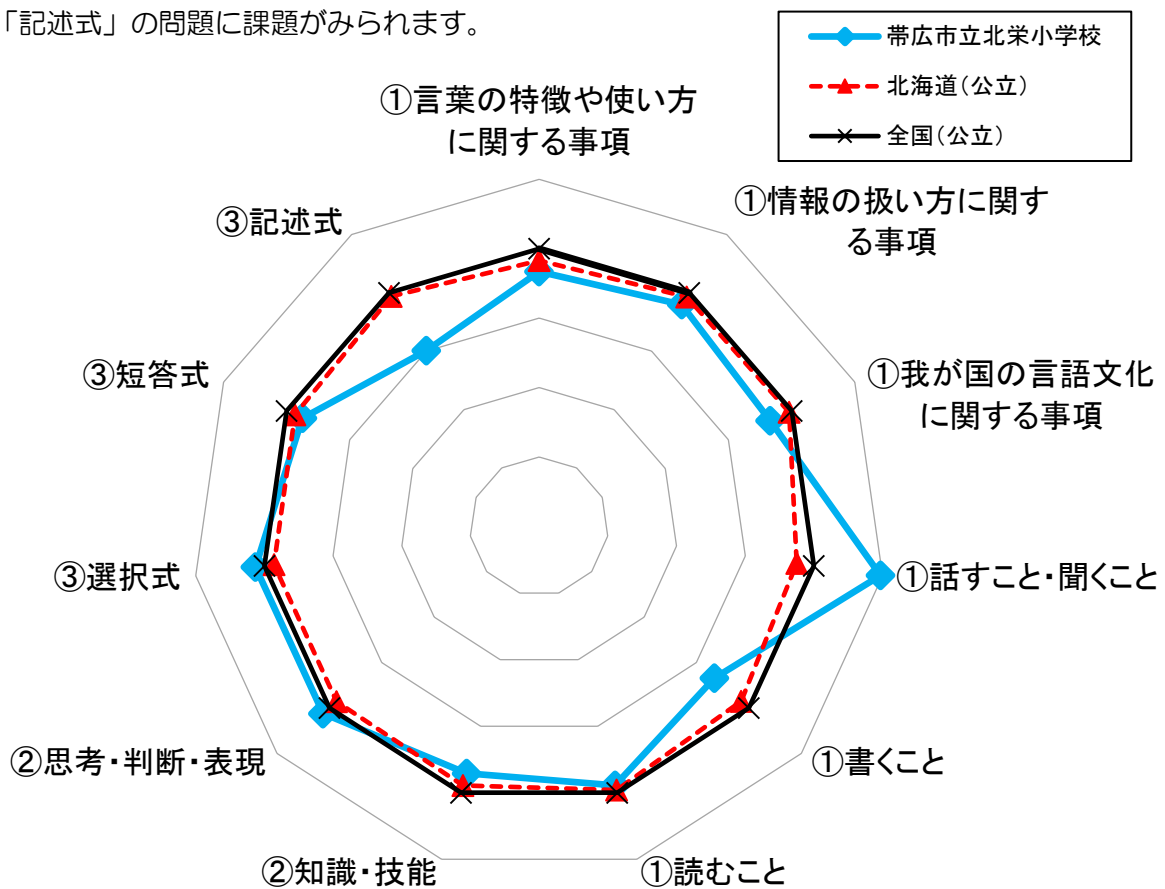
令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

第6学年を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果等についてその概略をお知らせします。本校では、本調査により測定できるのは子どもたちが身に付けるべき学力の特定の一部分であり、教育活動の一側面であることを踏まえながらも、これまでの指導との関連を図りつつ今後の指導に生かしていきたいと考えています。

◆学力の概観

(1) 国語

国語における本校の正答率は、全国平均を下回りました。しかしながら、全国平均を超える項目や全国平均に迫る項目も多く学力が定着してきている様子がわかります。また、「書くこと」を問う問題、「記述式」の問題に課題がみられます。



◎今後の取組

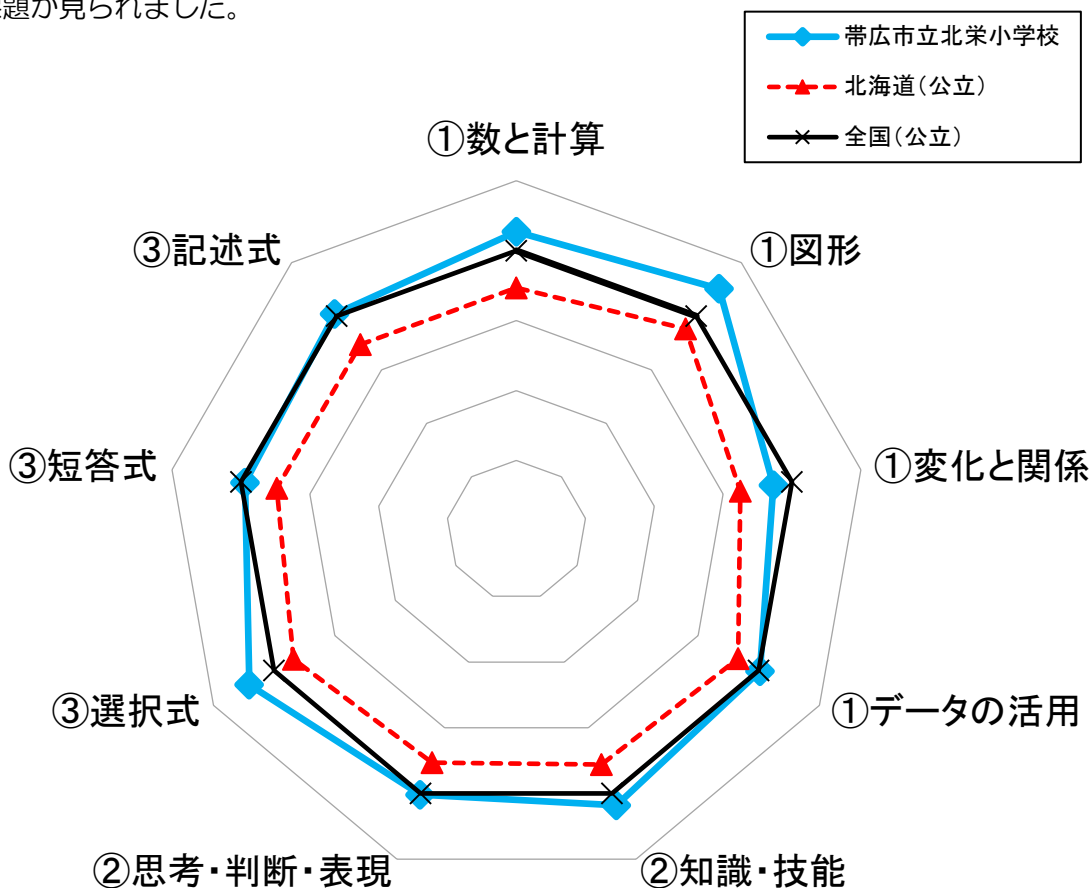
正答率が全国平均と有意差がなく国語の学習の力がおおむね身につけていることがわかります。『思考力・判断力・表現力』『話すこと・聞くこと』の正答率が高く、子ども主体的に学ぶ学習の展開や、話し合いなどの交流の場を意識的に設けた結果が表れています。

課題としては、記述式の問題で正答率が低いことです。多くの資料から、必要な情報を見つける学習（情報活用能力）を意識して授業に取り組んでいきます。

また、『書くこと』の領域の正答率も低いことから、エリアでも進めている短作文の活動やクロームブックでの共有機能など行い書く活動を意識して取り入れていきます。

(2) 算数

算数における本校の結果は、全国の平均正答率を上回りました。ほとんどの項目で全国平均を上回っており学力が定着してきている様子がわかります。算数は無回答率が全国より少なく、学習に最後まで向かおうとする態度や自信がみられます。しかし、「変化と関係」の問題の正答率において、課題が見られました。



◎今後の取組

正答率が全国平均を超えており、小学校生活5年間の指導の成果がしっかり表れています。また、国語でもそうでしたが無回答率が全国より少ないのは良い傾向です。学習に最後まで向かおうとする態度や自信がみられます。タブレット等を活用し、繰り返し学習する機会（スマイルドリルや九九など）が増え、個別最適化された学びが進んでいったことで力がついていることも考えられます。今後もICTを効果的に活用し、成果に結び付けられるよう指導を続けてまいります。